

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	飛騨あさひイベント開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	O	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	課			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線 3632	予算	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	9,000	千円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか (意図)	地域資源を最大に生かした観光イベントの開催により、住民とのふれあい、交流人口の増大を図ることが出来る。	概要	事業の実施 手法(手段)	美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森氷祭り(事業実施団体への負担金)
	対象者数	不特定多数 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森氷祭りの6イベント						
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	イベント回数	回	目標値	6	6	6	6	
成果 指標	交流人口		人	目標値	9,178	9,200	10,000	11,000
	算出根拠等	イベント開催時の入込客数	達成率(%)	95	70			
成果 指標	自己負担金率		%	目標値	15	17	20	20
	算出根拠等	年度実績報告書	達成率(%)	107	106			
補足	・地域の風土を活かしたイベントとして住民の憩いの場、交流の場として賑わいを取り戻しつつある。		目標値					
	算出根拠等	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・来客者の関心が高まるような仕掛けづくり等、市を挙げたイベントに発展させるために具体的な取り組みを検討する必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・合併前から実施している行事、イベントについては、観光イベント運営委員会、道の駅イベント運営委員会、水祭り運営委員会、飛騨あさひ旅館組合により今後の方向性について精査を行い、継続について十分検討する必要がある。	
次年度の実 施方針	維持・改善 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・事業の必要性や効果を考慮しながら、自主開催へ向けた事業内容とする様に検討して行く。
	維持・改善 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特別期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	12,498	12,500	10,100	9,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,440	1,929	1,010	818
	受益者 入込客	(B)	8,678	6,479	10,000	11,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森氷祭り(事業実施団体への負担金)	要求の ポイント	地域資源を最大に生かした観光イベントの開催 地元特産品などのバザー・コースターラリー・イワナの掴み取り・よもぎ餅つき・丸太の早切り・カ士のふれあい、かき相撲、ちびっこ相撲、チャンコ鍋の振る舞い、地元を中心とした楽器や和太鼓の演奏・地域伝統芸能の披露	事業実施の 課題	行事、イベントの必要性や効果を各委員会、組合と協議しながら、自主事業等での開催が可能になる様に検討する。	観光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的の制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。
地域 政策 課					合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。		

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,100	9,000	△ 1,100	9,000	9,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,100	9,000	△ 1,100	9,000	9,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ふるさと体験事業 (グリーン・ツーリズム推進)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ・飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズム(自然に親しむ旅行)に加え ・温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム(健康に良い旅行)、 ・自分だけの製品をつくるクラフトツーリズム(モノづくりの旅行)など、地元
	番付			款	6	商工費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 基盤産業課		内線 3632	項	2	観光費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	700 千円		
	目	1		観光振興費	<input type="radio"/> D	その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか (意図)	・都市住民との心の交流を通じてグリーン・ツーリズム活動を推進し地元産業の潤いと高齢者・女性等の生きがいづくりを図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業に向けた調査・研究・実施
	対象者数	不特定多数 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	4	4	4
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	400	500	700
算出根拠等	イベント開催数		達成率(%)	100	100		
				実績値	4	4	
算出根拠等	イベント開催時の入込客数		達成率(%)	155	127		
				実績値			
算出根拠等			達成率(%)				
				実績値			
算出根拠等			達成率(%)				
				実績値			
算出根拠等			達成率(%)				
				実績値			
算出根拠等			達成率(%)				
				実績値			
算出根拠等			達成率(%)				
				実績値			
補足	・地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルが出来つつある。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・グリーン・ツーリズムにむけた取り組みの認知度は高まっているが、体験者の関心が高まるような仕掛けづくり等、市を挙げた事業に発展させるために具体的な取り組みを検討する必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・地域内外への紹介をインターネット・ブログ等を活用し、体験者の関心が高まるような仕掛けづくりを行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・事業の必要性や効果を考慮しながら、持続可能となるよう運営主体の強化を図る必要がある。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	800	800	800	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,290	1,260	1,143	875
	受益者 参加者	(B)	620	635	700	800

5 予算編成(Action2)

事業内容	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業	要求のポイント	事業実施の課題	観光課 持続可能な事業となるよう運営主体の強化を図ること。
支所	・今後体験型交流事業を推進していくうえでは、幅広い民間関係者に参加していただけるようにし、市を挙げた事業に発展させたい。		地域政策課 合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	700	△ 100	700	700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	800	700	△ 100	700	700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	スズランカップ Jrクロスカントリー大会開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款			9	教育費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3610		項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	500 千円	
				目	1	体育総務費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技選手	どうしたい のか (意図)	・県内唯一のジュニア対象のクロスカントリー大会を開催し競技力向上と青少年の健全育成を目指す	概要	事業の実施 手法(手段)	期 日	平成24年2月第2日曜日
	対象者数	92,861 人					会 場	鈴蘭高原クロスカントリーコース

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	期 日	平成24年1月22日(日)	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	会 場	鈴蘭高原クロスカントリーコース				目標値	1	1	1
成果 指標	参加者	小学生(男子15人・女子13人)中学生(男子11人・女子7人)高校生の部(男子13人・女子4人) 計63人	スズランカップクロスカントリースキー大会の実施	回	実績値	100	100		
	内 容	クロスカントリースキー(フリー)				達成率(%)			
成果 指標	算出根拠等	年一回	スズランカップクロスカントリースキー大会の実施	人	目標値	50	55	55	65
	算出根拠等	参加者数				実績値	61	63	
成果 指標	算出根拠等				目標値				
	算出根拠等					実績値			
成果 指標	算出根拠等				目標値				
	算出根拠等					実績値			
成果 指標	算出根拠等				目標値				
	算出根拠等					実績値			
補足	算出根拠等				目標値				
	算出根拠等					実績値			
・県内でジュニアの競技会が行われる唯一の大会であり、競技者の育成、競技力向上が図られている。									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内でも競技者数が少なく、全市民を対象とする大会ではない。 ・地域活性化の施策として実施するため、地域の実行委員会による大会運営であるが競技団体の協力は欠かせない。今後競技団体が運営母体となり公認レースとなるよう図り、近県や全国から多くの参加の増加を図る必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・県外の競技団体へ大会参加の案内を行う。	
次年度 の実施 方針	維持・改善 ○ 拡大	・大会の規模を拡大し参加者の募集を広範囲に行い、宿泊者数の増加が見込める地域の特色を活かし活性化に繋がる大会とする。
	縮小 ○ 縮小	
二次 評価	維持・改善 ○ 縮小	・特例期間終了を見据え、行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、スポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	500	500	500	500
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,197	7,937	9,091	7,692
	受益者	ジュニアクロスカントリー競技者	(B)	61	63	55

5 予算編成(Action2)

事業内容	ジュニアクロスカントリースキー大会の開催負担金	要求の ポイント	県下の唯一のジュニアを対象としたクロスカントリースキー競技会を秋神地域で開催	事業 実施 の 課題	支所 ・地域のジュニア育成会が主体となり実施しているが、育成会の会員も少なくなり、今後の運営主体を県競技団体へ移行する必要がある。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域 政 策 課	同上						

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	500	500	0	500	500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、 独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
	款			3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3640	項	目	1	社会福祉費	H25計画額	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	420	千円		
				目	3	老人福祉費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
				実績値	10,405	9,796		
				算出根拠等	達成率(%)	99	93	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
				実績値	150	143		
				算出根拠等	達成率(%)	100	95	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
				実績値	42	39		
				算出根拠等	達成率(%)	99	91	
	補足	算出根拠等			目標値			
					実績値			
					達成率(%)			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	791	781	653
	受益者	朝日区会員(4月1日現在)	(B)	531	538

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の助成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各区老人クラブ事務局人件費	事業 実施の 課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。	高年 介護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
						地域 政策 課	・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	内線	3641	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款					7	土木費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 基盤産業課					項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000 千円	
	目	1	道路橋りょう総務費	D		その他事業								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の住民	どうしたい のか (意図)	・未登記路線の整備	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・3路線28筆の調査(境界立会、相続関係)を実施。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	所有権移転登記筆数	筆	目標値	12	21	28	26
				実績値	0	0		
	算出根拠等		登記筆数/年	達成率(%)	0	0		
	成果 指標	登記延長	m	目標値	1,621	2,401	1,580	2,400
				実績値	0	0		
	算出根拠等		登記延長/年	達成率(%)	0	0		
	成果 指標	調査延長	m	目標値	1,621	2,401	1,580	2,400
				実績値	1,621	2,401		
	算出根拠等		調査延長/年	達成率(%)	100	100		
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・各支所担当者では事業に専念できず進捗率が伸びないため、専門の課(係)を設立し重点的に事業を進める必要がある。 ・単価契約ではなく、各工程毎に積算をおこない、入札発注するのが望ましい。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・市全体の調整を、本庁担当課と行う。
次年度 の実施 方針	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討

・未登記の解消を遂行していくが、市全体の調整が必要であり、地域振興特別予算ではなく一般予算で対応すべきである。
・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,297	3,143	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,206	1,663	2,670	2,688
	受益者	4/1現在の朝日地域住民	(B)	1,904	1,890	1,873

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支所 ・各支所担当者では事業に専念できず進捗率が伸びないため、専門の課(係)を設立し重点的に事業を進める必要がある。 ・単価契約ではなく、各工程毎に積算をおこない、入札発注するのが望ましい。	維持 課 世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。	地域 政 策 課 積極的に事業を推進すること
------	------------------	-------------	---------------------	---	--	------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	5,000	0	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	
種別				款	9	教育費		○	B				一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	朝日支所 地域振興課			項	4	社会教育費			C				終期を定めて実施する事業・単年度事業
	内線 3634			目	1	社会教育総務費			D				その他事業
								H25計画額	680 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町)	どうしたい のか (意図)	花いっぱい運動に参加する町内会、地域社会教育団体などを広く募集し、希望する団体などに花苗を配布し、朝日町内の景観保全を図る。 ・果断づくりを通して、地域の子供から高齢者まで一体となったコミュニケーションの場とする。	概要	事業の実施 手法(手段)	花苗、チューリップの球根を希望する団体などへ配布する
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・サルビア 25TR ・マリーゴールド(黄) 30TR ・マリーゴールド(橙) 20TR ・アゲラタム 26TR ・ケイトウ 27TR ・日々草 5TR ・チューリップ球根 3,750個 希望する団体などへ配布							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	参加団体	団体	目標値	21	21	21	21
				実績値	21	23		
	算出根拠等			達成率(%)	100	110		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	ニーズを理解し、花の種類や数を検討する。
---------------------	----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	育てやすく丈夫な品種の苗に変える。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	内容の見直しを図り、より一層充実した活動を実施する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 601	604	680	680
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 28,619	26,261	32,381	32,381
	受益者 各団体	(B) 21	23	21	21

5 予算編成(Action2)

事業内容	花苗・球根の購入経費	要求の ポイント	花々で彩られた朝日町内の景観を創出 花壇コンクールの開催	事業 実施の 課題	支所 育てやすく丈夫で、色が映える品種をニーズの傾向を踏まえ検討する。	市民 活動 推進 課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		680	680	0	680	680	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	680	680	0	680	680		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	ひだ朝日伝統文化祭助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
種別			款	9	教育費		○	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課		朝日支所 地域振興課	項	4	社会教育費			終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	500 千円		
		内線 3634	目	6	文化振興費			その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域住民	どうしたいのか(意図)	・伝統芸能、伝統工芸の貴重な地域文化を後世に残すと共に、広域的なイベント開催により、地域文化への理解と連帯感の醸成を図る。 ・地域芸能、工芸を一同に集める発表会、展示会の開催により、地域間交流を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	「ひだ朝日伝統文化祭」を毎年、秋季に開催する。 事業実施主体 朝日地区社会教育推進委員会
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	伝統芸能発表、工芸品の展示と児童生徒の発表等により地域文化への理解が深まった。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	来場者(参加者)	人	目標値	500	500	500	500
		実績値	500	500				
	算出根拠等	来場者集計より	達成率(%)	100	100			
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	より効率的な事業の開催をするための見直し。
-----------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	コストの縮減のために効率的な事業の開催の見直しを行っている。
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	内容の見直しを図りながら、より一層充実した開催を実施する。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 800	800	600	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 420	423	320	267
	受益者 朝日地域住民	(B) 1,904	1,890	1,873	1,873

5 予算編成(Action2)

事業内容	・伝統芸能発表、工芸品展示などを一同に集め、地域文化への理解を深める。	要求のポイント	・地域文化、伝統芸能に触れる貴重な場となっており、地域住民の交流を促進している。また、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上で効果が出ている。	事業実施の課題	支所	・より効率的な事業を開催するための見直し。	生涯学習課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なるため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
							地域政策課	・同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		600	500	△ 100	500	500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	600	500	△ 100	500	500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながら芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	朝日支所 地域振興課		内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,400 千円			
		3634	目	6	文化振興費		D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域住民	どうしたいのか(意図)	優れた芸術文化に接する機会を創出し、市民に心豊かな生活を営む場を提供し、魅力ある地域づくりを創造すると共に、地域の文化団体における自主事業開催のための基礎づくりを目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	毎年、講演会や演奏会などの芸術観賞を開催する。24年度 7月・12月に開催予定。 事業実施主体 朝日地区社会教育推進委員会
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	講演会「どげんかせんといかん！この日本」 講師 東国原 英夫 氏 住民に活力と夢を与えることができ、創造性や豊かな感性を育むことができた。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	来場者	人	目標値	300	300	300	300
		実績値	440	350				
	算出根拠等	来場者集計より		達成率(%)	147	117		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	より効率的な事業の開催をするための見直し。
-----------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	コストの縮減のために効率的な事業の開催の見直しを行っている。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	内容の見直しを図りながら、より一層充実した開催を実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,000	1,600	1,500	1,400
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,058	857	804	747
	受益者	朝日地域住民	(B)	1,890	1,866	1,866

5 予算編成(Action2)

事業内容	・文化講演会や演奏会などの芸術観賞を開催し、芸術文化に触れる機会を創出する。	要求のポイント	・例年、盛況に開催され、優れた芸術文化に触れる貴重な場になっており、市民も楽しみにしている。	事業実施の課題	・より効率的な事業開催のための見直し。	生涯学習課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
						地域政策課	・同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,500	1,400	△ 100	1,400	1,400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,500	1,400	△ 100	1,400	1,400		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	市指定文化財保存事業	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市指定文化財保存計画 地域振興計画	市長 公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の 伝統文化や、文化財などの資源を保存活用する。
	9 教育費			B 一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3640	予算	4 社会教育費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	D その他事業	H25計画額	1,060 千円		
				7 文化財費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	天然記念物、有形文化財等は貴重な国民的財産であり、保護管理に努め後世に伝えていく大切な 責務を持っている。説明板等を設置し、その重要性和意識啓蒙を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・指定文化財石柱設置 ・説明看板設置 ・乗鞍登山道石仏祠設置
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・前年からの事業を継承し、石柱を設置 ・腐食の著しい説明板を更新						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	石柱設置数	個	目標値	5	5	5	5
			実績値	5	5		
成果 指標	対象文化財に占める設置済み石柱の比率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	49	63		
活動 指標	説明看板設置数	個	目標値		1	1	1
			実績値		1		
成果 指標	設置済石柱/対象文化財	%	目標値				
			実績値				
活動 指標	算出根拠等		達成率(%)		100		
			目標値				
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)				
			実績値				
活動 指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)				
			実績値				
活動 指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)				
			実績値				
補足	・石柱については、指定文化財のうち有形文化財等を対象として設置しており、継続事業として所有者(管理者)への認識が高まっている。 ・登山道の石仏発掘調査は朝日村時代より実施しており、公募等により広く周知され保護活動に取り組まれている						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・保存及び活用を図るために実施する事業として定着しつつあるものの、文化財に対する意識の向上を図るうえでは、より多くの地 元町民や市民を巻き込み関心が高まる仕掛けづくりを検討する必要がある ・石柱については対象文化財の損傷や盗難につながる恐れもあることから、設置の妥当性を検証する必要がある
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	貴重な文化遺産として後世に継承していく責務から、その必要性や妥当性を考慮し継続事業として取り組んでいく	
次年度 の 実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	対象文化財の見直しを行い、有効利用が図られるよう検証を行う
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度までに完了できるよう計画的にすすめる必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 850	938	1,750	1,050
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B) 9	10	19	11
	市民(4/1現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・指定文化財石柱設置 ・文化財説明版設置	要求 の ポ イ ン ト	・貴重な歴史文化遺産を後世に継承する保護費としての計上	事業 実 施 の 課 題	・文化財保護に対する地域住民への意識啓蒙の普及推進	文 化 財 課	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓蒙の観点から必要であり、 設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。
						地 域 政 策 課	計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,750	1,050	△ 700	1,000	1,000	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	1,750	1,050	△ 700	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	スポーツフェスタ助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3610		項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	150 千円	
				目	1	体育総務費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内市民対象	どうしたいのか (意図)	・余暇の時間増大により物質的充足感より心の豊かさなど精神的な充足感が強く求められるようになり、日常生活に定着した活動により参加しやすい軽スポーツの大会を開催することにより地域の活性化につなげるたい	概要	事業の実施 手法(手段)	市全体の行事として、全に一斉に各地域で開催される 期日 10月上旬 会場:朝日小グラウンド、体育館 対象者 朝日支所地域内の小学生から高齢者まで 内容 グランドゴルフ、ダーツ、ベタンク、輪投げ、キックボウリング、ストラックアウト、ウォークラリー等
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	期日:平成23年10月2日 会場:朝日小グラウンド、体育館 内容:ベタンク、ダーツ、グラウンドゴルフ、その他軽スポーツ 参加者:100名						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	スポーツフェスタの開催	回	目標値	1	1	1	
			実績値	1	1		
算出根拠等			年一回	達成率(%)	100	100	
成果指標	スポーツフェスタの開催	人	目標値	150	150	150	
			実績値	100	100		
算出根拠等			参加者数	達成率(%)	67	67	
成果面			目標値				
			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)			
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)			
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)			
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)			
補足	・子供から高齢者までが一緒に集い楽しみながら健康作り、地域の絆が気づける事業である						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・参加者が子供、高齢者が個人で参加できる種目が主体であるため、グループ、地域で参加できる種目を加え町内会で取り組める内容にする必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する	
次年度の実施方針	維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する
	二次評価 ○ 拡大 ○ 縮小 廃止検討	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	150	150	150	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,500	1,500	1,000	1,000
	受益者	地域住民	(B)	100	100	150

5 予算編成(Action2)

事業内容	地区社教が主催する軽スポーツ大会開催に対する助成	要求の ポイント	・子供から高齢者までが一緒に集い楽しみ、地域の絆を深めることができる事業の実施	事業実施の 課題	支所 広く参加してもらう大会にする必要がある	スポーツ 推進課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域政策課						同上	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	150	150	0	150	150		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	道の駅周辺整備事業	予算	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	4 個人・家庭・地域を大切にすることを築きます 地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を全市息に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります
	課			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	担当課			1	商工費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	内線			1	商工振興費	D		その他事業				
	3632								H25計画額	千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客(道の駅利用者)	どうしたいのか (意図)	安全性向上と多くの地域要望を具現化する 国道361号線改良により交通量・交流人口の増加に対応した施設とするとともに、地域資源の活用を図り魅力ある施設とする	概要	事業の実施 手法(手段)	イベント広場をグラウンドゴルフのコースが取れるように再整備する 休憩所の改修を行う
	対象者数	42,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	なし							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	道の駅入場者数	道の駅レジカOUNTER数	人	目標値	42,000	42,000	42,000	42,000
				実績値	41,399	38,551		
	算出根拠等	道の駅レジカOUNTER数		達成率(%)	99	92		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	イベント広場はマレットゴルフコースが常設してあるが、利用者が非常に少ない。 水はけが悪いことやコースが常設のため散策等には足を踏み入れにくい状況である 広場の休憩所(土俵)が唯一の日陰と雨よけになるが背が高く庇がない
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	合併まちづくり計画にある「親子ふれあい公園」を取り止め道の駅周辺整備を行うことし、整備計画を策定した	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	道の駅内のイベント広場(現在のマレットゴルフ場)をグラウンドゴルフのコースが取れる多目的広場とする 休憩所の改修を行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	維持・改善	
	縮小	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	11,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				262
	受益者	(B)	0	0	0	42,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	イベント広場の再整備(マレットゴルフ場から多目的広場へ) 休憩場の改修(日陰の確保)	要求の ポイント	地域要望を具現化する(親子ふれあい公園を見直し既設施設の再整備をおこなう)	事業実施の 課題	整備後の施設の維持管理及び自主事業による誘客等による収益増を 指導する必要がある	商 工 課	観光客や地域住民に施設が有効活用されるよう、地域において創意工夫を 重ね、活用促進に取り組む必要がある。
						地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	11,000	11,000	10,000	10,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	0	11,000	11,000	10,000	10,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	乗鞍・御岳登山道管理事業	内線	3632	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632	1	一般会計	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	200 千円		
				2	商工課	D	その他事業				
						3	観光費				
							自然公園費				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来訪者(登山道)	どうしたいのか (意図)	・来訪者が安全に自然に親しめるよう、乗鞍及び御岳の登山道の維持管理と環境整備を実施する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・業務委託により、下層植物について登山道の刈払い等をこなう。
	対象者数	不特定多数 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	乗鞍青屋登山道 6km刈払い							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
					目標値	1	1	1
	実績値	1	1					
	算出根拠等	年1回	達成率(%)	100	100			
	成果面	指標名	単位	目標・実績	目標値			
					実績値			
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果面	指標名	単位	目標・実績	目標値			
					実績値			
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果面	指標名	単位	目標・実績	目標値			
					実績値			
算出根拠等		達成率(%)						
成果面	指標名	単位	目標・実績	目標値				
				実績値				
算出根拠等		達成率(%)						
補足	・登山ルートを区切り年次計画を立てる。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・登山道の延長が長い為、笹による荒廃地区を継続的に刈払いを実施する事が困難になって来ている、登山愛好者や地元関係者のボランティアの協働により環境整備が行えるような取組を検討する必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・安全に自然に親しめるよう環境を充実するため、事前に調査ポイントを業者に指示する。	
担当課 評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・継続的に刈払いを実施することに、計画性を持たせおこなう。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、登山道整備の方針について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 198	199	600	600
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2	2	6	6
	受益者 市民(4/1現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	登山道の草刈り	要求の ポイント	事業 実施の 課題	環境 政策 推進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
				地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		600	600	0	200	200	・計画どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	600	600	0	200	200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95299	秋神夢づくり事業 (秋神グラウンド・アーチェリー施設整備事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	
	種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3610		項	5	保健体育費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円
				目	2	地域体育施設維持管理費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・アーチェリーの練習、競技施設としての機能を向上、充実することにより施設の利便性が増し、アーチェリー競技場、練習場としての利用の増加を図る。また、利用者の増加による地域内宿泊施設の宿泊者増加により地域の活性化を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・矢が場外へ飛び出すことによる矢の紛失、事故の危険性を低減するため防矢ネットの設置
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	23年度事業なし							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	施設利用団体	組	目標値	5	5	5	10
				実績値	2	1		
	算出根拠等 合宿・試合			達成率(%)	40	20		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・利用者のニーズにあった施設にすることが必要である。
---------------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・25年度早期に事業実施できるよう利用者のニーズを調査する。
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善
	拡大 縮小 廃止検討
二次 評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				80,000
	受益者	0	(B)	0	0	10

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・秋神グラウンドのアーチェリー施設に防矢ネット設置による機能整備	要 求 の ポ イ ン ト	・アーチェリーの練習、競技施設としての機能を向上、充実することにより施設の利便性が増し、アーチェリー競技場、練習場としての利用の増加を図る。 ・利用者の増加による地域内宿泊施設の宿泊者増加により地域の活性化を図る。	事業 実 施 の 課 題	支 所	・施設整備状況の周知	ス ポ ー ツ 推 進 課	当施設の整備により、地域において取り組んでいるアーチェリー合宿の受け入れ環境が整い、合宿誘致による地域の活性化が図られるものとする。
							地 域 政 策 課	本事業が秋神地域の活性化にどのようにつながるか、十分に検証する必要がある。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	800	800	800	800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	800	800	800	800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	42299	食用油リサイクル事業 予算 内線 3640	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きる全ての人が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など環境改善につながる取り組みを支援します。
種別			款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 地域振興課		項	2	清掃費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	410 千円		
			目	2	塵介処理費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日支所地域住民	どうしたい のか (意図)	使用済み食用油を回収、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地球温暖化対策を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・一般家庭より排出される食用廃油を拠点施設において定期回収する ・回収廃油は処理施設で精製し、公用車燃料として活用する
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	廃油回収量	L	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500		
	実績値		2,242	1,760					
算出根拠等			達成率(%)	90	70				
活動指標	燃料精製量	L	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500		
	実績値		2,240	2,000					
算出根拠等			達成率(%)	90	80				
成果指標	燃料使用量	L	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500		
	実績値		2,203	2,000					
算出根拠等			達成率(%)	88	80				
補足			目標値						
			実績値						
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	廃食油の分別回収と再資源化は地球温暖化防止対策や環境保全の一環とした取り組みであるが、精製燃料の利用方法と回収方法の検討を要す
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	一般家庭からの回収が低下していることから事業所等へ回収範囲を拡大し事業継続していく
次年度の課評価	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
二次評価	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
精製機械の耐用年数を勘案しつつ、将来的な当該リサイクル事業の継続について検証が必要	
環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22	H23	H24	H25
		決算額	決算額	予算額	予算要求額
歳出(千円)	(A)	101	179	220	210
受益者1件当たり(円)	(A/B)	53	95	117	112
受益者	朝日支所地域住民 (B)	1,904	1,890	1,873	1,873

5 予算編成(Action2)

事業内容	・一般家庭から排出される食用廃油の回収 ・回収した廃油の処理施設での燃料精製	要求のポイント	・廃棄物の再資源化と環境保全に取り組み、市民へのリサイクル意識の向上を図るもの	事業実施の課題	回収量と需要のバランスを維持した規模の継続	生活環境課	食用廃油の利用拡大のための精製方法や、他の再利用方法がないか検討しながら事業を継続していく必要がある。	地域政策課	地球温暖化対策は様々な取組みが可能のため、将来性を含め事業を今後も推進すべきかどうかの検証が必要である。
------	---	---------	---	---------	-----------------------	-------	---	-------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		220	210	△ 10	220	220	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	220	210	△ 10	220	220		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	モンキードッグ活動支援事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防御事業を強化し、併せて駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に取り組みます
	課			5	農業水産業費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
	担当課			1	農業費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	内線			3	農業振興費	D		その他事業					
	朝日支所 基盤産業課	3631						H25計画額	240	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域住民	どうしたい のか (意図)	モンキードッグ活動を強化し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。	概要	事業の実施 手法(手段)	モンキードッグの活動に対する助成
	対象者数	533 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	モンキードッグ7頭の計、223回の出勤があった。						
成果 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	モンキードッグ出勤回数	頭	目標値	420	420	420	420
	実績値		243	223			
	算出根拠等		達成率(%)	58	53		
成果 面			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	モンキードッグをさらに育成し、1町内1頭以上配置する方向で検討する。
---------------------	------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	連合町内会、及び農業改良組合長会等の場で、モンキードッグ育成の啓蒙を図っている。	
次年度 の実施 方針	維持・改善	モンキードッグをさらに育成し、1町内1頭以上配置する方向で検討する。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・モンキードッグの効果について検証した上で、今後の方針について検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 240	210	210	180
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 450	394	394	338
	受益者 出勤対象町内会世帯	(B) 533	533	533	533

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・有害鳥獣、特に、猿による被害は年々深刻化しており、被害は生活環境を脅かす事態となってきた。そこで、安心して暮らせる地域づくりを目指すため、モンキードッグ出勤等の活動を強化するための助成を行う。	要 求 の ポ イ ン ト	・モンキードッグの活動に対する助成	事業 実 施 の 課 題	支 所 ・現在活動しているモンキードッグ6頭では、朝日地域全体をカバー出来ないため、モンキードッグをさらに育成する必要がある。	農 務 課	・地域ぐるみによる効果的・効率的な被害防止対策として、モンキードッグは有効な手段であり、新たなモンキードッグ育成が必要である。
						地 域 政 策 課	・鳥獣害は全市的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		210	180	△ 30	180	180	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	210	180	△ 30	180	180		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業(農道分)	内線	3631	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	課					B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 基盤産業課			4	1	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	400	千円
	項	5	農業水産業費			D	その他事業			
目				1	1	農業土木費				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農道利用者	どうしたいのか(意図)	農道の管理	概要	事業の実施手法(手段)	広域営農団地農道の交通安全確保のための除草 W=1.0 m
	対象者数	一人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	広域営農団地農道の交通安全確保のための除草(A=5,800㎡)を行った。						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	除草面積	㎡	目標値	5,800	5,800	5,800	5,800
	算出根拠等		実績値	5,800	5,800		
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	広域農道整備事業が早期に完成するため、県へ働きかける必要がある。
-----------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	県の担当部局に対し、早期完成への働きかけをしている。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
引き続き除草し、交通の安全を確保する。	
農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	378	378	400
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			
	受益者 農道利用者	(B)			-

5 予算編成(Action2)

事業内容	・広域営農団地農道の交通安全確保のための除草作業の実施	要求のポイント	・除草作業(A=5,800㎡)を行うための経費を計上	事業実施の課題	農務 ・集落内の農道については地域や営農者による自主管理を求めているが、不特定多数の利用がある幹線農道については物流経路、安全確保のためにも事業を継続する必要がある。 地域政策課 ・樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全体的な検討、調整が必要である。
------	-----------------------------	---------	----------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	400	400	0	400	400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	400	400	0	400	400		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	白樺原生林環境保全整備事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市 長 公 約	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	課			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線 3632	予 算	項	2	観光費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	1		
				目	3	自然公園費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内外の人	どうしたいのか (意図)	朝日町胡桃島に存在する白樺原生林の保全整備	概要	事業の実施 手法(手段)	歩道通行上支障となる下層植生について、刈り払い等を行う。
	対象者数	不特定多数 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	隔年により休み						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	刈払い、ゴミ拾いの回数	回	目標値	2	0	2	2
成果指標	来訪者数	人	実績値	2	0		
	算出根拠等		達成率(%)	100			
成果面	算出根拠等		目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
	算出根拠等		実績値	834	800		
補足	算出根拠等		達成率(%)	83	80		
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・景観の保全整備と来場者などの安全確保、受入れ態勢の強化(案内看板整備等)対応が必要。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・安全に自然に親しめるよう環境を充実するため、事前に調査ポイントを業者に指示する。											
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="4">・継続的に刈払いを実施することに、計画性を持たせおこなう。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	○ 維持・改善	・継続的に刈払いを実施することに、計画性を持たせおこなう。	拡大	縮小	廃止検討	二次評価	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	維持・改善	拡大	縮小	廃止検討
○ 維持・改善	・継続的に刈払いを実施することに、計画性を持たせおこなう。											
拡大												
縮小												
廃止検討												
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	維持・改善	拡大	縮小	廃止検討							
維持・改善												
拡大												
縮小												
廃止検討												

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	180	180	0	200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2	2	0	2
	受益者	市民(4/1現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	遊歩道の草刈り	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	・景観の保全整備と来場者などの安全確保、受入れ態勢の強化(案内看板整備等)対応が必要。	環境 政策 推進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
	地域 政策 課			同上			

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	200	200	200	200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	0		0				
	一般財源		200	200	200	200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業 (市道分)	内線	3641	予算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款 7 土木費					○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	朝日支所 基盤産業課			2	項 2 道路橋りょう費	目 2 道路橋りょう維持費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,000 千円		
							D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民および道路通行者	どうしたい のか (意図)	・沿道景観を保持する。(市道) ・「さくらロード」「もみじ街道」の景観保持および植樹帯の保護。(国・県道)	概要	事業の実施 手法(手段)	・町内沿道の清掃および草刈り。
	対象者数	不特定多数 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・町内市道9路線L=26, 300mの沿道草刈り。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	沿道草刈り	m	目標値	1	1	1	1
成果 指標	算出根拠等	委託発注計画件数/委託発注件数	達成率(%)	100	100		
	草刈り面積	m ²	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000
成果 指標	算出根拠等	計画面積/実績	達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
成果 指標	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果 指標	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果 指標	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・配当予算アップ ・緊急雇用創出事業の活用
---------------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・緊急雇用創出事業との調整	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	・現在年1回しか実施できていないが、年2回実施するのが望ましい。
	○ 拡大	
二次 評価	○ 維持・改善	・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 938	830	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 493	439	534	538
	受益者	朝日支所地域全住民 (B)	1,904	1,890	1,873

5 予算編成(Action2)

事業 内容	市道沿道の草刈り清掃	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	維持 課	地域間を結ぶ市道であり距離も長い為、地域住民だけでは対応できない。交通安全や景観保全のため業務を委託する。
					地域 政策 課	樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74699	公園用地購入事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	千円	市長 公約
種別				款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線 3641		項	4	都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額		
				目	6	公園管理費		O	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・土地開発基金保有地(公園用地)の買戻しをする	概要	事業の実施 手法(手段)	・地区公園一箇所(すずらん公園)の一般予算による買戻し
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				算出根拠等	目標値		
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次年度 の実施 方針	一次 評価	維持・改善
		拡大
	二次 評価	縮小
		廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	17,519
受益者1件当たり(円)	(A/B)				189
受益者	全市民 (B)				92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公園用地購入(すずらん公園)	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所 ・合併前に公園用地として基金で取得した用地の買戻しが必要である。	都 市 整 備 課 地 域 政 策 課	・他の土地開発基金公園用地についても計画的な買戻しが必要である
------	-----------------	-------------	-----------------	--	--	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	17,519	17,519	16,900	16,900	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	0	17,519	17,519	16,900	16,900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74699	美女ヶ池浄化・美化保全事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを維持可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	課			7	土木費		○	B				
担当課	朝日支所 基盤産業課		内線	4	都市計画費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000	千円	1
	3641			6	公園管理費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来場者	どうしたいのか (意図)	・水生植物や草花を植生し、池の水の浄化や池周辺の景観美化を図り、合併記念公園にふさわしい美女ヶ池の姿を再生する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・浄化植物植栽 ・美化植物植栽
	対象者数	13,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・浄化植物9箇所(2㎡/箇所)植栽 ・美化植物71㎡植栽							
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	浄化・美化植物植栽面積		㎡	目標値		89	68	70
	算出根拠等 植栽計画面積/実績			実績値		89		
活動指標	樹木植栽本数		本	目標値			70	70
	算出根拠等 植栽計画本数/実績			実績値				
成果指標	利用者数		人	目標値		11,000	12,000	13,000
	算出根拠等 公園来場者/年			実績値		8,500		
成果指標				目標値				
	算出根拠等			実績値				
成果指標				目標値				
	算出根拠等			実績値				
成果指標				目標値				
	算出根拠等			実績値				
補足				目標値				
	算出根拠等			実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・浄化については成果が出るまでに時間がかかるため、現時点では検証できない。
---------------------	---------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・今後の対応方針を定める。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・周辺全体に美化植物を植栽するには、成果を見ながら毎年行う必要がある。 ・浄化植物は池の浄化を図るために植栽するものであり、汚濁が解消するまで行う必要がある。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・事業の継続については、事業効果を精査し実施する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	1,140	1,200	500
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)		134	100	38
	受益者 来場者	(B)	0	8,500	12,000	13,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・浄化植物および美化植物の植栽	要求の ポイント	・水生植物や草花を植生し、池の水の浄化や池周辺の環境美化を図り、合併記念公園にふさわしい美女ヶ池の姿を再生する。	事業 実施 の 課題	・池の浄化に対しての成果があがるまでに時間を要する。 ・美化植物の植栽は、成果を見ながら行う必要がある。	都 市 整 備 課	・植栽した部分の表示等を工夫し、浄化や美化効果の検証ができるように整備する必要がある。
						地 域 政 策 課	・今までの事業の検証を踏まえ、今後の対応方針を定めることが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,200	500	△ 700	500	500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,200	500	△ 700	500	500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	旧江戸街道保全事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市指定文化財保存計画	市長 公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の 伝統文化や、文化財などの資源を保存活用する。
	款			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3640	予算	項	4	社会教育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	100 千円		
				目	7	文化財費	D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	江戸街道は江戸時代、旅人や貨物輸送の主要な街道であった。この歴史的な街道から地域の豊かな自然、歴史や文化に触れ、自然保護及び地域資源を守るために街道保全を行う	概要	事業の実施 手法(手段)	街道修復・草刈等の維持管理
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・前年からの事業を継承した歩道の修繕 ・歩道の草刈、伐間						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	草刈修繕	m	目標値		3,750	1,000	3,750
			実績値		3,750		
算出根拠等			達成率(%)		100		
活動 指標	歩道修繕	m	目標値	100	100	25	0
			実績値		25	40	
算出根拠等			達成率(%)	25	40		
成果面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足	江戸街道は時代によって呼び方が違い、ブリ街道とも云われる。その昔、富山県より当地を中継し長野県へ運ばれたことから、当町では「ブリ街道祭り」を例年開催しており、街道への認識は高い。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	街道は広域に及ぶ歴史遺産であり、整備するエリアを拡大するとともに近隣地域が連携し相互に保存活用に取り組む必要がある
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	文化・歴史遺産は重要な地域資源であり、街道は往時を偲ぶことのできる有形の文化財である。 荒廃化を防止するためにも継続事業として取り組んでいく	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	街道の再踏査を実施し、整備箇所の検証を行う
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・維持管理以外に、市内外へのPR活用についても検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	500	100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	5	1
受益者	市民(4/1現在)	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	旧街道の保護と地域資源の維持管理	要求の ポイント	・貴重な歴史文化遺産を後世に継承する保護費としての計上	事業 実施 の 課題	支 所	街道の活用方法の検討	文化 財 課	・文化財の保護、啓発は継続的に行うことが大切である。今後も支所間調整を含め、計画的な事業実施が必要である。
							地域 政 策 課	市内に数多くある街道の整備すべき内容と優先順位を明確にしたうえで、施設の利用者増のためのPR等検討することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	100	△ 400	100	100	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500	100	△ 400	100	100		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業		会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、 振興する活動を支援するための 地域振興特別予算を全市域に 拡大し権限と予算の地域移譲を 図ります。
種別			款	2 総務費	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	朝日支所 地域振興課		項	1 総務管理費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		H25計画額	3,500 千円			
	内線	3610	目	9 企画費	D その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域住民	どうしたいのか (意図)	市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進する。	概要	事業の実施 手法(手段)	市民自らが主体となって取り組む地域振興事業に対して補助金を交付する。
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・町内会 17件 2320千円 ・団体等 1件 680千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	地域づくりを実施した件数	件	目標値	25	25	25	25
				実績値	21	18		
	算出根拠等		達成率(%)	84	72			
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
算出根拠等		達成率(%)						
			目標値					
			実績値					
算出根拠等		達成率(%)						
補足	・地域の住環境を市民自らの手で維持、改善していくための活動補助として予算ベースで100%の達成率である。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市や地域が管理すべき施設以外の県、国の施設については対応する県の事業を取り入れて、市の負担すべきコストを見直す必要がある。ただし地域の事務的負担が大きくなる。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・地域で行うべき事業とそうでないものを精査し、地域環境の維持に必要なコストを適正化する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域住民の手による環境、文化、伝統の維持保全をすすめる。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,000	3,000	3,900	3,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,576	1,587	2,082	1,869
	受益者 朝日地域住民	(B) 1,904	1,890	1,873	1,873

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------------------------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,900	3,500	△ 400	3,500	3,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,900	3,500	△ 400	3,500	3,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21999	地域要望対応事業	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
			款	2 総務費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課		朝日支所 地域振興課	項	1 総務管理費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,000 千円		
		内線	目	9 企画費		O D その他事業				
		3610								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域住民	どうしたいのか(意図)	地域の要望に対応し住みよい環境に整える	概要	事業の実施手法(手段)	地域の要望によりきめ細かな施設修繕事業を行う
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	5件 3,499千円								
成果 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25		
	事業実施した数	件	目標値	11	5	20	20		
			実績値	11	5				
	算出根拠等		達成率(%)	100	100				
	成果 面			目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)					
					目標値				
					実績値				
		算出根拠等		達成率(%)					
					目標値				
					実績値				
算出根拠等			達成率(%)						
				目標値					
				実績値					
算出根拠等			達成率(%)						
補足			目標値						
			実績値						
			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・地域の要望に迅速にきめ細かく対応できる事業であるため、速やかな実施を行う。
次年度の 実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 <input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	・地域の要望に迅速にきめ細かく対応できる事業であるため、速やかな実施を行う。
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,902	3,499	14,000	4,110
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,049	1,851	7,475	2,194
	受益者 朝日地域住民	(B) 1,904	1,890	1,873	1,873

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課
					地域 政策 課

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	14,000	4,110	△ 9,890	6,200	6,200	・きめ細かな地域要望対応を推進(配分額の調整による)	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	14,000	4,110	△ 9,890	6,200	6,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	土地借上料	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事 ○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業 C 終期を定めて実施する事業・単年度事業 D その他事業	根拠計画		市長 公約
担当課		朝日支所 地域振興課	内線	3610			H25計画額		千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技関係者	どうしたいのか(意図)	施設用地借上	概要	事業の実施手法(手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借
	対象者数	1,873 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・高齢者若者センター施設用地 ・市営鈴蘭シャンツェ施設用地							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	施設用地	算出根拠等	土地賃貸借契約	目標値	28,454	28,454	28,454	28,454
				実績値	28,454	28,454		
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
実績値								
算出根拠等	達成率(%)		目標値					
			実績値					
補足	・地域特有の施設を維持するために必要である。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市の基準を上回っているため単価交渉をする必要がある。
-----------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・市の基準を上回っているため単価交渉をする必要がある。
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討
次年度の評価	・市の基準に近づけるよう単価交渉をする。
二次評価	・市の基準に近づけるよう単価交渉を継続する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 910	910	898	881
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 478	481	479	470
	受益者	朝日地域住民 (B)	1,904	1,890	1,873

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地借上料	要求のポイント	事業実施の課題	複数課 ・施設の継続運営のため、市基準での土地借上料に近づけるよう単価交渉を継続する必要がある。 地域政策課 ・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。
			・市の基準に適合していないため引き続き交渉をする。	

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	898	881	△ 17	881	881	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0	120	120		
一般財源	898	881	△ 17	761	761		